

17 ニービチ由来(口)

夫婦あれする時、約束するでしょう。そしたら結納があるでしょう。あの結納は、何で結納できたかという、これ、約束の日はあれしないとね、また、しなかつたらそのうちに心変りをするから、その約束としてできたて。これ、結納したら約束はずれることないと。それで結納できて。

このニービチというのが、女がもう、

「あつちにはいかない」と言うて逃げたから、結婚。山へ逃げてから。

それでまた、女探しに行ったら、

「もう結婚していかない」と言ったから、この女は木を力いっぱい押したから、みんながまた引っぱったからよ、この木は抜けたて、根っこから。それで根っこが抜けたからもう逃げてはいかないと。それからまた、聞いてよ、結婚をしたて。ニービチをやったつて。

木を引つ張つて、この木はみんなで女を連れて行く時

引つ張つたから、自分一人の力でないですよ。みんなで引つ張っているでしょう。だから、抜けたと。

「根っこから抜けたから、木も一本抜けているからあんたも行かないといけない」と言つてよ、また、あれからニービチはできたて、話があつた。

字豊原 国吉マツ